



岡田康弘

市長選挙前後で市長の言葉に相違があるのでは

質① 市長は国や県とのネットワークは必要ないと堂々とやってきたが、なぜ今連携なのか。それとも変節なのか。

答① 関係者にはそれなりにお願いして、一定のパイプはつくらせていただいている。国県との連携については密にしながら頑張っていく。

質② 本市では私立幼稚園、保育園の果たしてきた役割は大きいと考える。公立幼稚園の再構築を進めていく上で、私立幼稚園・保育園との関係をどのように考えているのか。

答② 私立幼稚園・保育園の役割と実績は十分認識している。再構築では、新制度への私立の意向を踏まえて全市的に検討する。その際、公立の果たす役割も明確にする。

質① 市長は、どのように人口減少に歯止めをかけるのか。

答① 平成24年に津山市定住推進基本方針を定め、生活環境の向上、交流人口の増加など定住推進対策に取り組んできたが、産業の成長と安定による雇用の創出、雇用環境の改善が重要であるとの思いで、成長戦略を策定し、本年より具体的な事業を実施する。

質② 成長戦略の中にある産業支援センターの具体的なプランは。

答② 現在の「つやま新産業創出機構」において成果を上げている機能は残しながら、個々の事業者の成長に向けた取り組みや、工場等の留置についてもサポートが行える体制を整備したい。



人口減少に歯止めをかける方策は



中島完一

質① 産業支援センターは、企業の現場へ訪問し課題に対してその場で支援策を提案し、製品や技術をブランド化する川崎モデルを参考にしたい。

答① 「役所がここまでするのか」「現場で一緒に本気で汗を流し、学び合う」などの企業支援が成果を上げており、川崎市の事例に学びたい。

質② 市立美術館の建築は今後どのように進むのか。今まで美術館の建設を求めて尽力された方、個人美術館長、美術作家などの意見を聴くべきでは。

答② 津山市美術館構想審議会を設置し、津山市にふさわしい規模や性格、設置場所など検討してもらい、来年6月頃に答申の予定。市民の意見を反映し、工夫したい。

美術館は市民の意見を聴いて



秋久憲司